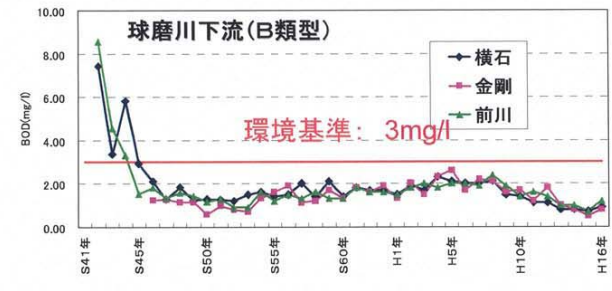
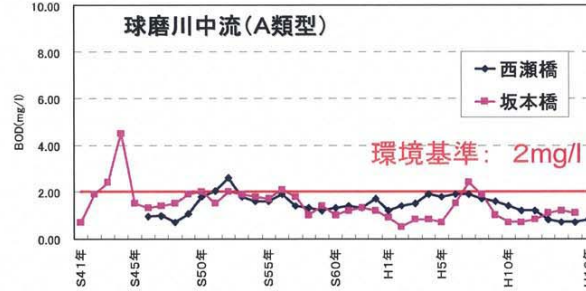


水質の変遷

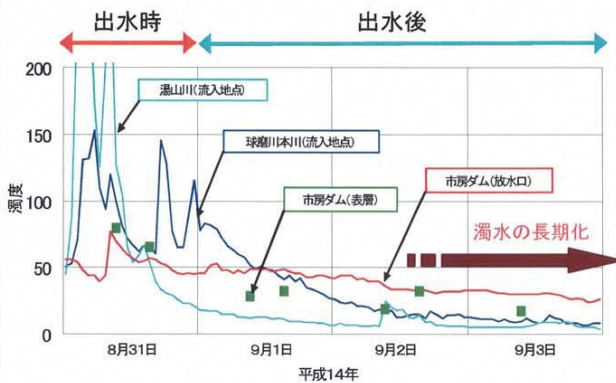
昭和40年代前半は、下流域で水質が悪かったが、近年(平成8年以降)は、上下流ともに良好な水質で推移



濁水の発生

洪水調節後の市房ダムの放流や山腹崩壊、流域の産業活動に起因し濁水が発生
これによるアユ等の生物の生息環境悪化や球磨川下り等の魅力低下の恐れがある

市房ダムにおける出水後の濁水の長期化



洪水調節時に溜め込んだ濁水を洪水後徐々に放流した結果、下流域において濁りの長期化が生じている

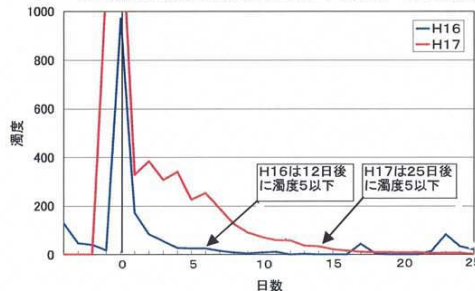
山腹崩壊による濁水の長期化

平成17年台風14号による山腹崩壊状況



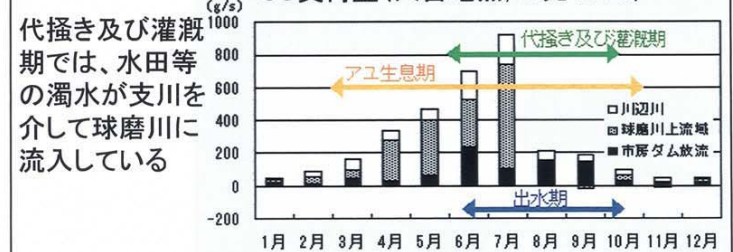
集中豪雨により、特に川辺川流域では多くの山腹崩壊が発生し、川辺川上流部で川に多くの土砂が堆積。その微細な粒子が流されることにより長期にわたる濁りの原因となった

ピーク濁度軽減日数(川辺川下流端・権現橋)



流域からの濁水の流入

SS負荷量(人吉地点, H元-H10)



- ・洪水後の市房ダムからの放流も濁水の長期化の一因であり、今後、選択取水等の対策が必要
- ・代掻き期等において本川上流部で発生する濁りについては、面的な対策が必要
- ・植林や砂防等による土砂流出抑制策が必要

河川利用の現状と課題

球磨川水系

八代、人吉地区では、河辺は散策、スポーツ等、市民の憩いの場を形成

より一層市民が水辺に近づけるような親水空間としてのハード、ソフトの対策



下流部の豊原公園（八代市）はスポーツやイベントが盛ん



豊原せせらぎ水路



地域イベントも行われる市民の憩いの場（人吉市）



毎年、全国花火師競技会も開催（八代市）



市房ダム周辺

市房ダム周辺は桜の名所。毎年県外を含む多くの花見客を集める。

人吉から上流にはサイクリングコースが整備され、多くの人々が利用。



サイクリングロード

※鏡野遊歩道HPより

毎年夏には「全国大鮎釣り選手権大会」が開催されるなど、大型のアユを求めて多くの釣り人が流域を訪問。本川や川辺川上流部では溪流釣りが盛ん



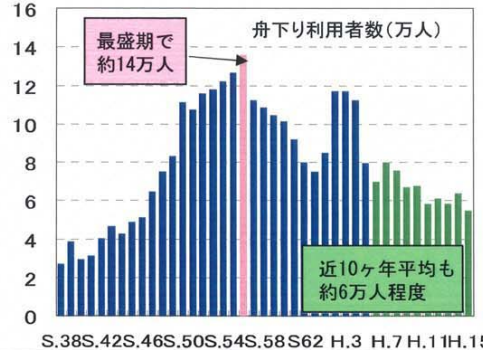
アユ等の豊かな河川生態系を育む生息・生育の場となる瀬・淵の再生・保全



二俣の瀬(48k)周辺はアユの生息する瀬が多く存在

ダイナミックな流れが30kmに渡って連続し、観光シンボルとなっている舟下り、近年はカヌー、ラフティングの利用者も多い

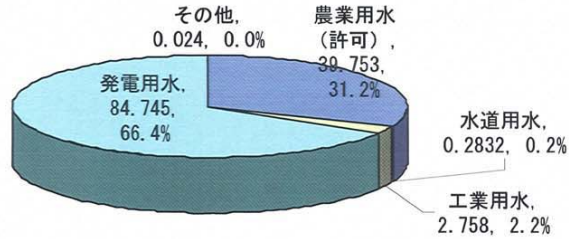
ダイナミックな川の流れの保全。良好な景観の保全



S.38S.42S.46S.50S.54S.58S62 H.3 H.7 H.11H.15

用途別取水量

○ 従来から発電、農業、工業及び水道用水等に利用されている。



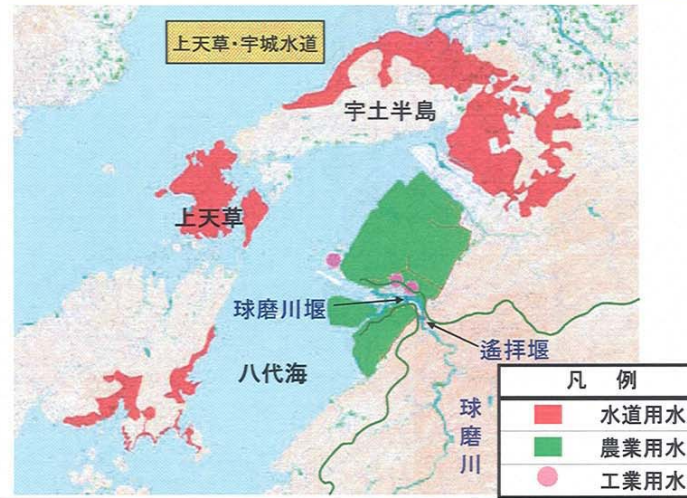
発電所位置図

○ 豊富な降雨量と急峻な地形を利用して計20箇所の発電所が存在。



下流部(八代平野)における水利用

○ 遥拝堰等から取水された球磨川の水は、八代平野の農業用水、工業用水の他、流域外の天草地区における水道用水として広く利用され、安定的な水の供給が重要。



上流部(人吉・球磨盆地)における水利用

- 本川上流部左岸の盆地低平地は肥沃で、本川に設けられた上流取水堰群からの用水により、古くから穀倉地帯を形成。
- 川辺川沿いの低平地は川辺川からの直接取水により営農。
- 球磨川右岸の高原台地等では、中小河川からの取水や雨水に頼らざるを得ず安定した水供給が課題。

